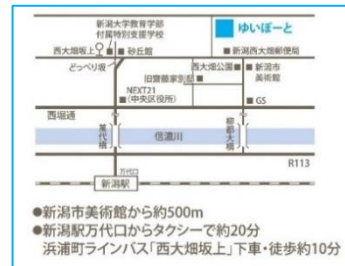


(仮想) みずとつちの芸術祭 - 新潟 - 2023



- 基本理念** MANY BRIDGES 可能性をつなげる。掛け合わせる。
～過去を知り、現在(いま)を考え、未来を創る～
- 開催趣旨** 新潟市は阿賀野川と信濃川の2つの大河によって生まれ、人々は大河によってもたらされた恩恵や被害を受けながら、共に今日を迎えています。大河と共に生きてきた先人たちは、恩恵を活かし、そして時に苦闘しながらも、知恵を絞って暮らし文化をつくり上げてきました。その文化は、地域ごとに様々な個性があり、多様性に満ちています。新潟市の Identity である水と土、それらと共に生きてきた先人たち、2018年まで開催された水と土の芸術祭に感謝し、これまでに築き上げられてきた歴史文化を次代に伝え、Arts の力で再び「新潟とは何か」を問い、新たな文化を創造する芽を育み、市民の手で新しい芸術祭を作りたい。
- 主催** 新潟市芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと)
<指定管理者 環境をサポートする株式会社きらめき>
- 共催** みずとつちの芸術祭実行委員会
(事務局：水と土の芸術祭市民サポーターズ)
※単独主催の企画・イベント等あり
- メイン会場** 新潟市芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと)
2階 水と土の文化ギャラリー
住所：新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7
電話：025-201-7530
料金：入場無料(一部イベント有料)
会期：7/16(日曜)～9/24(日)
第一部 開会式 7/16(日) 13:00
第二部 開会式 8/11(金・祝) 13:00 / 閉会式 9/24(日) 15:00
休館日：7/24(月)、8/28(月)
時間：9:00～21:30(最終日は15:00迄)
- サブ会場** 山の下神明宮
住所：新潟市東区臨港1丁目8-48
備考：駐車場はありません。
- 飲食コラボ** 佐渡自然食レストラン 貴支
みずつち御膳<期間限定メニュー>
住所：新潟市中央区西堀前通6-894-1(西堀ローサ内)
営業時間：(昼)11:00～14:30 / (夜)16:00～20:00
定休日：日曜、第3水曜日
※佐渡自然食レストラン 貴支と、みずとつちの芸術祭実行委員会の連携企画
- その他** 追加作品や、イベントの追加・中止・延期・変更等の最新情報は、
下記右下の二次元コード先のホームページやSNS等にてお知らせ致します。
また、当企画に対するお問い合わせは、下記「お問い合わせ先」にお願い致します。



【お問い合わせ先】 水と土の芸術祭市民サポーターズ(みずつちサポーターズ)
担当：みずつちサポーターズ 代表 平岩 史行 (ひらいわ ふみゆき)
Tel：080-3142-1684 / E-mail：info.mizutsuchi@gmail.com



(仮想)

みずとつちの芸術祭

— 新潟 — 2023

参加作家

ハアフーフ、松島菜月、手塚千晴、高橋ノリユキ、関本圭佑、岡村鉄琴、阿部和志、ひたぎ、飛鳥、阿賀野川遡上計画、堀田ななこ、望月ひな、すい CREATORS(写真：平岩史行+作画：松島咲月)、等

表紙デザイン：すい CREATORS(写真：平岩史行+作画：松島咲月)

2023.7.16 SUN - 9.24 SUN | 会場：新潟市

メイン会場：新潟市芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと)
サブ会場：山の下神明宮

アート

メイン会場

第一部：7/16～8/05 / 第二部：8/11～9/25

※フライヤーの掲載写真はイメージのため実際の展示作品と異なる場合があります。

第一部・第二部



作品 | にゅう潟研究所 2023

もう一つの「新潟」と云われている『にゅう潟』。そこには様々な生物が生息し、それぞれの土地の歴史や記憶をまとっている。この伝説の潟の研究資料と多様な表現者の作品から構成されるインスタレーション作品。『にゅう潟』を通して「新潟」を問う。

作家 | にゅう潟研究所 (ハアフーフ、松島菜月、等)



作品 | 日雨

私の好きな夏の雨。

午前中の陽が差し込む時間に、ぜひ見に来てください。

作家 | 手塚千晴：三人展中庭のメンバー。木彫、ZINE 制作、WS を軸に活動中。



作品 | この砂丘のむこう側

新潟海岸における砂丘は、ふたつの大河が運ぶ土砂が、日本海側特有の北風や波で形成された地形です。その新潟の街と夕日が沈む海を分ける小高い丘は、何かの境界線のように。2つの風景を見ると、ここでしか感じる事ができない新潟が見えてきます。

作家 | 高橋ノリュキ



作品 | 人と自然を大切に

新潟市北区の海辺の森キャンプ場を運営しつつ、様々なものを作り活動している。第一部では「写真」を、第二部では廃材や流木を使い制作した「トキ」を展示する。※作品写真は第二部で展示する「トキ」のイメージ

作家 | 関本圭佑



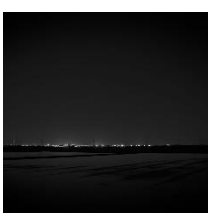
第一部 7/15～8/5

作品 | 芦沼望郷

「遠い 遠い 芦沼の情景よ」

今は無き芦沼を、夜の闇の静謐の中に見る。その瞬間を写す。

作家 | 阿部和志



作品 | 表現の可能性

水が見せる毎回異なる流れや、光り方が僕は好きで、撮りためている。水がもたらす豊かな表現を感じてほしい。

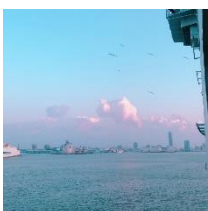
作家 | ひたぎ



作品 | メモリーズ

あの日は今日に繋がっている
今日はいつかへ繋がる どこか遠く
それとも近く あたたかな場所に

作家 | 飛鳥



第二部 8/11～9/25

作品 | 阿賀追想

1982年5月から約3年半、後藤正明氏が撮影した新潟水俣病に関する写真の一部を紹介し、過去と今に触れる。

作家 | 阿賀野川遡上計画



作品 | タイトル未定

新潟の緑の自然に触れ合う少女を伝統的な日本画の画材を使用し、揉み紙した和紙の上に描く。時を超えた日本画作品。

作家 | 堀田ななこ



作品 | タイトル未定

水と土の繋がりをコンセプトに、一部に砂を使い、自然とそれに溶け込む動物(猫)を描く。水、土、砂の魅力を感じてほしい。

作家 | 望月ひな



上記以外に、第一部では、高橋秀彰、本間和人、すい CREATORS(写真：平岩史行)の作品を展示します。第二部では、岡村鉄琴(8/12 設置)、筒井日向、平井有佳、塚本佳子、池田ほのか、江間一誓、小澤康太、片野響介、すい CREATORS(写真：平岩史行+作画：松島咲月)等の作品を展示します。その他、芸術祭のインフォメーション、最新イベント情報、協力者のフライヤー等を設置します。

アート

サブ会場

※会期中に会場が増える可能性があります。ホームページ等でご確認ください。

※みずとつちの芸術祭実行委員会の単独主催

山の下神明宮 (新潟市東区臨港 1-8-48)



作品 | 天上界を映し出す鏡、にゅう潟に生息しているかもしれない動物
手水舎に『天上界を映し出す鏡』を制作。山の下神明宮のご祭神がいる世界を表現する。また、参道脇の公園にある古い遊具たちを『にゅう潟に生息しているかもしれない動物』として新たな命を吹き込む。作業は天気と相談して進めるので完成時期は未定。

作家 | 松島菜月



イベント

※会期中に増える可能性があります。ホームページ等でご確認ください。

※申し込み先 E-mail: info.mizutsuchi@gmail.com

ゆいぽーと

7/16(日)	13:30	ガイドツアー 総合ディレクター
8/11(金)	13:30	メイン会場解説ツアー(作家参加するかも!?) 無料 定員: 各 10 名程度 集合会場: コミュニティスペース 所要: 30 分 申込: 不要
7/16(日)	14:00	イベント 総合ディレクター × すい CREATORS × 参加者
8/11(金)	14:00	領域展開作戦会議～君なら芸術祭で何を展示したい?何をやりたい?を語り合おう～ 無料 定員: 各 10 名程度 会場: クリエイティブルーム 2 所要: 1.5 時間 申込: 不要
7/16(日)	10:00	ワークショップ にゅう潟研究所
8/12(土)	13:30	にゅう潟コンクール～今日から君も研究員!みんなで作品を作って展示しよう!～ 無料 定員: 各 20 名程度 会場: クリエイティブルーム 2 所要: 2 時間 申込: 不要
7/23(日)	10:00	イベント 新潟シティガイド
		ゆいぽーとのまわりをまちあるき～新潟砂丘、旧斎藤邸等をめぐる～ 740 円 定員: 15 名程度 集合会場: ゆいぽーと ラウンジ 所要: 2.5 時間 申込: 要
8/05(土)	19:15	トークイベント 高橋ノリュキ × すい CREATORS(平岩史行) + 司会: 阿部和志
		阿賀野川流域を撮影する写真家 2 人は「何を感じ」「何を撮ろう」としているのか。写真を語ろう。 無料 定員: 現地 5 名程度 会場: メイン会場(Web 配信あり) 所要: 1.5 時間 申込: 要
8/12(土)	12:00	イベント 岡村鉄琴 × ハアフーフ
		書道家・岡村鉄琴とハアフーフのパフォーマンスによるライブ書道(書は展示します) 無料 定員: 15 名程度 会場: コミュニティスペース 所要: 30 分 申込: 要
8/20(日)	10:00	イベント ハアフーフ
		ゆいぽーとのまわりの草花を観察&たたき染め 500 円(小学生以下無料) 定員: 5 組 会場: ワークショップルーム 1 所要: 2 時間 申込: 要
8/26(土)	13:30	ワークショップ 松島菜月
		ペットボトル de アート～松島菜月が下絵を描いたペットボトルを園芸グッズにして色を塗ろう～ 300 円 定員: 20 名程度 会場: クリエイティブルーム 1 所要: 2 時間 申込: 不要
9/20(水)	19:00	イベント 潟の夢映画祭実行委員会(高橋秀彰)
		潟の夢映画祭 2023～みんなの短編映画大集合～ 無料 定員: 20 名程度 会場: クリエイティブスタジオ 所要: 1.5 時間 申込: 不要

JR 亀田駅周辺 ※みずとつちの芸術祭実行委員会の単独主催企画

9/02(土)	17:00	イベント 阿部和志
		黄昏時の亀田を歩こう。カメダ黄昏探検隊!! 500 円 定員: 8 名 集合場所: JR 亀田駅自由通路 所要: 2 時間 申込: 要